

人間を救うのは、人間だ。



Our world.
Your move.



令和7年度
事業報告



1 災害救護活動

赤十字は、日本赤十字社法、災害救助法、災害対策基本法などによって、災害発生直後から復興期までの救護活動やこころのケア活動を行う組織として位置付けられています。

また、三木市に設置している「日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター」において、施設機能を活かして救護員研修などを実施し、更なる災害救護体制の充実と強化に努めています。

1. 救護班と救護員の編成及び各種防災・救護訓練の実施

自然災害や大事故が発生し救護活動が必要になった場合に備え、県内3カ所の赤十字病院に医療救護班を編成(15班309名)し、救護活動が途切れることのないように努めています。

あわせて、活動を円滑にするための災害医療コーディネートチームや被災者へのこころのケアを実践するため、こころのケア班も編成しています。

姫路及び神戸赤十字病院では、災害の超急性期に対応する日本DMAT(災害派遣医療チーム)隊員に61名を登録し、発災直後に医療救護が行えるよう資機材を含め備えています。

兵庫県支部では、今後、いつ発生するかわからない大災害に備え、赤十字間の連携を強めています。



主な救護訓練参加状況

6月	日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練
7月	神戸空港航空機事故図上訓練
9月	第八管区海上保安本部巡視船みうら合同訓練
9月	三木市総合防災訓練
10月	兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練
11月	大阪国際空港航空機事故対策総合訓練
11月	兵庫県合同防災訓練
11月	内閣府医療船舶実働訓練
11月	近畿地方DMATブロック訓練

救護員研修会

5月	救護班要員研修
6・9・12月	衛星電話通信研修
8・9・11月	日赤災害医療コーディネート研修
8月	支部災害対策本部要員研修研修
7・10月	災害派遣医療チーム技能維持研修
8月	全国救護班要員研修
9月	救護員技術研修(テールゲートリフター特別教育)
10月	都道府県災害医療コーディネート研修
10月	防災関連システム研修
11月	日赤こころのケア指導者養成研修
11月	災害派遣医療チーム隊員養成研修
12月	原子力災害時の救護研修

令和7年度救護員登録者数

姫路赤十字病院	126人
多可赤十字病院	35人
神戸赤十字病院	130人
姫路看護専門学校	2人
兵庫県赤十字血液センター	16人
合計	309人

救護班数

姫路赤十字病院	8班
多可赤十字病院	2班
神戸赤十字病院	5班
合計	15班

救護班の編成基準

医師	1人
看護師	3人
主事	2人
1班合計	6人

2. 救援物資の備蓄・配布

個人の住宅やマンションが火災や水害等に遭われた際、毛布や緊急セットなどを配布しました。また、不幸にもお亡くなりになられた場合には、ご遺族に災害見舞金を交付しました。



毛布



緊急セット



安眠セット



タオルケット

区分	配布数	備蓄在庫数
毛布	99枚	5,563枚
緊急セット	53セット	2,962セット
安眠セット	0セット	799セット
タオルケット	0枚	5,999枚
災害見舞金の交付9件		180,000円

(令和7年12月末現在)

3. 赤十字防災ボランティア

赤十字の災害救護活動に協力することを目的として、現在、防災ボランティアリーダー6人、サブリーダー1人、個人ボランティア61人が赤十字防災ボランティアとして登録しています。

令和7年度は、実践研修会・総合訓練においてハイゼックスを使った炊き出し、テールゲートリフター特別教育、防災ボランティアに向けたこころのケア研修などを行いました。



4.国内災害義援金・海外救援金の受付額

令和7年度に兵庫県支部でお受けした災害義援金、海外救援金は次表のとおりです。

(円)

災害義援金	令和6年能登半島地震災害	3,661,573
	令和6年9月能登半島大雨災害	176,173
	令和7年大船渡市赤崎町林野火災	496,298
	令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害	16,779
	令和7年台風第8号に伴う災害	15,813
	令和7年8月6日からの大雨災害	220,908
	令和7年台風第12号災害	14,567
	令和7年台風第15号災害静岡県	506,679
	令和7年台風第22号及び第23号災害	100
	令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災	201,587

海外救援金	中東人道危機	32,070
	バングラデシュ南部避難民	240,409
	ウクライナ人道危機	296,732
	2025年ミャンマー地震	132,350
	2025年アフガニスタン地震	365
	2025年パキスタン洪水	629

義援金・救援金合計 6,013,032円

(令和7年12月末現在)

2 健康と安全を守る講習

赤十字では、誰もが持っている「苦しんでいる人を助けたいという優しい心」、その優しさを行動に移す“自信”と“勇気”を持っていただけるように、AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生をはじめ、救急法や健康生活支援講習、赤十字防災セミナーなどを県内各地で開催、またオンラインでの講習も行いました。

区分	基礎・養成講習		短期講習		オンライン講習		指導員養成講習		合計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
救急法	48	913	189	7,590	12	132	0	0	249	8,635
幼児安全法	4	38	47	976	5	23	0	0	56	1,037
水上安全法	3	22	10	431	-	-	0	0	13	453
健康生活支援講習	5	58	11	245	1	1	0	0	17	304
防災セミナー	-	-	20	509	3	9	1	23	24	541
合計	60	1,031	277	9,751	21	165	1	23	359	10,970

(令和7年12月末現在)



3 赤十字奉仕団

赤十字の使命とする人道的な諸活動を身近な社会の中で実践しようとする人々が集って結成されたボランティアの組織です。兵庫県支部では、市町を基盤にした地域奉仕団(45団、27,441人)、専門的な技能をもった人々による特殊奉仕団(9団、447人)、学生が中心となった青年奉仕団(2団、142人)が組織され、様々な活動を展開しています。

1.地域赤十字奉仕団

①地域赤十字奉仕団員研修会

地域赤十字奉仕団員研修会を県内20地域(姫路市・神戸市灘区・神戸市東灘区・西脇市・伊丹市・川西市・播磨町・香美町・高砂市・洲本市・淡路市・明石市・三田市・神戸市北区・丹波市・新温泉町・加西市・加東市・神戸市長田区・太子町)において実施し、赤十字奉仕団員および地域住民444人が「赤十字のしくみと活動」、「身近な人を守る応急手当」などの研修に参加しました。



②西播磨赤十字奉仕団研修大会

7月、さよう文化情報センターにて「西播磨赤十字奉仕団研修大会」を開催しました。西播磨地域の赤十字奉仕団や佐用町内の小・中・高等学校、佐用町各種団体総勢97名が、きずの手当、急病の手当、段ボールベッド・トイレの作製を体験しました。



2. 特別赤十字奉仕団(青年赤十字奉仕団・特殊赤十字奉仕団)

特別赤十字奉仕団は、点字、無線、潜水、写真、通訳、赤十字救急法など専門的な知識や技術を活かした活動を展開しています。

令和7年度は、大阪・関西万博において、延べ86人の特別赤十字奉仕団員が国際赤十字・赤新月運動館の運営ボランティアに参加しました。



4 青少年赤十字

世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成を目的に、学校教育の場で様々な活動を展開しています。

加盟校数243校 メンバー数75,884人 (令和7年12月末現在)

1. 中学校高等学校青少年赤十字協議会例会

青少年赤十字の実践目標である「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」をテーマに、学期ごとに例会を実施しています。

令和7年度は、災害時の衣食住について、被災地で役立つアイデアや避難者の不安を和らげる方法などを話し合いました。

また、令和8年1月17日(土)「ひょうご安全の日のつどい」において、兵庫県赤十字奉仕団による炊き出しに参加し、過去の教訓を未来につなげる活動に取り組みました。



2. 青少年赤十字の研修事業および各加盟校での取り組み

① 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

【8月7日～8日、兵庫県支部災害救護支援センター：中学生19名、高校生49名、指導者15名】

リーダーシップ・トレーニング・センターでは、例会で考案した災害時のアレンジレシピ「リゾット・蒸しパン」の炊き出し体験、一次救命処置、きずの手当などを通して、赤十字や青少年赤十字に関する知識、技術を学びました。



② 地域と連携した防災訓練

兵庫県立尼崎小田高等学校が主催する「あまおだ減災の日」に参加し、青少年赤十字メンバーは「胸肩圧迫レース」のブースを運営しました。同年代の来場者に心肺蘇生法を楽しく学んでいただくとともに、防災・減災意識の普及啓発に取り組みました。

3. 提供プログラム

兵庫県支部では、加盟校が各学校のカリキュラムの中で青少年赤十字活動を展開できるよう、「健康・安全」「福祉教育」「国際理解・国際平和」「防災教育」「その他」の5つの分野の活動プログラムを提供しており、令和7年度は延べ80回実施しました。(令和7年12月末現在)



5 国際活動

世界191の国や地域の赤十字・赤新月社などと連携して、開発途上国の赤十字社への事業支援、また民族紛争や自然災害による被災者への緊急支援・復興支援などの人道的活動を行っています。

1. 国際救援・開発協力要員派遣

派遣先	派遣期間	業務内容	派遣者
バングラデシュ人民共和国	R8.1.4～R8.3.17(予定)	避難民保健医療支援事業	神戸赤十字病院看護師

2.国際活動参加事業

①南部避難民保健医療支援事業／バングラデシュ人民共和国

日本赤十字社はバングラデシュ赤十字社とともに、避難民及び地元コミュニティのレジリエンスの強化に取り組んでおり、兵庫県支部もこの活動を支援しました。

②南部アフリカ地域感染症対策事業／ナミビア共和国・エスワティニ王国・マウライ共和国・ザンビア共和国

日本赤十字社は南部アフリカ地域の社会的に脆弱な孤児や貧困世帯が取り残されないように包括的な支援に取り組んでおり、兵庫県支部もこの活動を支援しました。

3.NHK海外たすけあいキャンペーン

世界各地で多発する自然災害や武力紛争により苦しんでいる人びとを支援するため、43回目となる海外たすけあいキャンペーンを12月に開催し、各地区分区(県内各市町)などを通じて、広く県民の皆さまからご支援いただきました。

また、赤十字奉仕団や日赤有功会からも多大なるご協力をいただきました。

兵庫県支部の実績額 4,588,265円

(令和7年12月末現在)



4.大阪・関西万博パビリオン運営支援

4月13日から184日間にわたり開催された大阪・関西万博において、日本赤十字社では国際赤十字・赤新月運動館を出展し、31万人を超える方々にお越しいただき、人道の理念への理解と共感を深めていただきました。

兵庫県支部からは、会期中毎日3名のスタッフを派遣し、ボランティア及び職員計567人(延べ)がこのパビリオンの運営を支えました。

パビリオンを訪れた来館者から「助けを必要としている人は必ずいるという言葉に、大変心打たれました」「いつまでも活動を続けてほしい。応援します!」など多くの感想が寄せられました。



6 活動資金

国内外の災害救護活動や各地域で安全安心のため取り組まれる赤十字活動は、活動の意義や理念にご賛同いただいた方々からお寄せいただく活動資金と、多くのボランティアの方々の奉仕等によって支えられています。ご協力いただいた活動資金や奉仕活動は、日本赤十字社の組織的基盤であり、活動を推進するうえでの原動力となっています。

■地域からのご協力額

ご協力いただいた活動資金は、被災者の救援活動や災害への備え、そして地域の安全安心のための活動などに役立てられています。各地区分区(県内各市町)におきましても、活動資金へのご支援をお願いし、多くの方々からご協力をいただきました。

(円)

市・町名	ご協力額 (〇は地区分区受付分)	市・町名	ご協力額 (〇は地区分区受付分)	市・町名	ご協力額 (〇は地区分区受付分)
神戸市	209,822,822 (22,015,106)	三木市	3,751,288 (2,527,088)	たつの市	10,908,592 (8,852,092)
姫路市	64,860,670 (49,266,314)	高砂市	6,779,156 (6,138,681)	阪神北	猪名川町 1,578,321 (1,001,321)
尼崎市	21,551,242 (13,513,654)	川西市	104,865,511 (3,848,668)	東播磨	稲美町 3,588,300 (2,933,300)
明石市	7,896,567 (2,349,285)	小野市	5,167,373 (4,263,373)		播磨町 3,386,670 (3,306,670)
西宮市	49,012,471 (21,673,675)	三田市	3,718,824 (2,747,500)	北播磨	多可町 2,728,200 (2,321,500)
洲本市	2,921,100 (1,893,100)	加西市	4,909,029 (3,593,029)	中播磨	市川町 1,722,785 (1,659,400)
芦屋市	7,455,524 (2,619,692)	丹波篠山市	5,252,536 (4,134,836)		福崎町 2,455,496 (2,347,434)
伊丹市	8,587,356 (4,082,150)	養父市	3,253,400 (3,063,400)		神河町 1,763,600 (1,684,100)
相生市	4,538,438 (4,112,507)	丹波市	7,059,789 (6,533,675)	西播磨	太子町 3,403,927 (3,060,092)
豊岡市	10,275,194 (9,411,929)	南あわじ市	5,920,144 (4,583,280)		上郡町 2,446,162 (2,255,162)
加古川市	12,325,421 (8,860,855)	朝来市	4,531,817 (3,828,817)		佐用町 2,556,500 (2,436,500)
赤穂市	7,274,096 (6,787,450)	淡路市	5,065,026 (4,460,826)	但馬	香美町 2,750,699 (2,502,699)
西脇市	3,115,162 (2,817,162)	宍粟市	12,510,294 (4,794,909)		新温泉町 2,242,200 (1,990,200)
宝塚市	6,723,617 (3,969,548)	加東市	4,708,420 (3,512,100)	県外・その他	1,687,851
				合計	637,071,590 (247,753,079)

(令和7年12月末現在)

7 医療事業

姫路、多可、神戸の赤十字病院では、いずれも各地域の中核病院として救急医療やへき地医療など安全で安心な医療サービスの提供を行うとともに、日本赤十字社の使命でもある災害救護活動や国際活動を展開できる体制の強化を図りました。

姫路赤十字病院

住所：〒670-8540 姫路市下手野1-12-1
電話番号：079-294-2251

標榜科目:内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、肝臓内科、腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、小児外科、外科、乳腺外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、化学療法内科

多可赤十字病院

住所：〒679-1114 多可郡多可町中区岸上280
電話番号：0795-32-1223

標榜科目:内科、外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、眼科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、皮膚科、精神科、麻酔科、歯科

神戸赤十字病院

住所：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1
電話番号：078-231-6006

標榜科目:内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、心療内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、皮膚科、病理診断科

令和7年度 業務実績見込み

(人)

区分	姫路		多可		神戸	
	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均
外来患者	323,696	1,343	30,660	127	122,811	510
入院患者	180,779	495	25,964	71	86,460	237

8 看護師養成

看護専門学校では、一般の看護教育にとどまらず、国内外における災害救護活動においても活躍できる看護師の養成を行いました。

定員数、在籍者総数

(人)

定員数	学年	1年生	2年生	3年生	合計
各学年40名	令和7年度学生数	42	41	41	124

(令和7年12月末現在)

卒業生

(人)

	卒業生数	国家試験合格率	就職・進学率
令和6年度	44名	100%	100%

9 血液事業

血液事業では、全国7カ所にブロック血液センターを置き、献血者や血液製剤の安全対策の充実や血液製剤の安定供給をはじめ、事業の効率化、健全な経営基盤の確立を図っています。兵庫県赤十字血液センターは、近畿ブロック血液センター内の地域血液センターとして、県内6カ所の献血ルームと移動採血車で、県民の皆様や県内で働く方々に献血いただく「採血業務」と、血液製剤を県内の医療機関にお届けする「供給業務」を担っています。

令和7年度においても、前年度に引き続き献血Web予約の推進を行うことにより、安定的に献血者を確保して、兵庫県内だけでなく近畿管内全体の安定供給に貢献することができました。

また、各種SNSや献血セミナー等を活用し、若年層を中心とした幅広い年齢層を対象に、様々な献血推進活動を展開しました。

- はたちの献血キャンペーン
- 愛の献血助け合い運動
- 全国学生クリスマス献血キャンペーン
- 世界献血者デー
- 献血セミナー (主な取り組み例)

献血者の受入

(人)

成分献血	400mL献血	200mL献血
45,841	108,750	3,748

(令和7年12月末現在)

輸血用血液製剤の供給

(本)

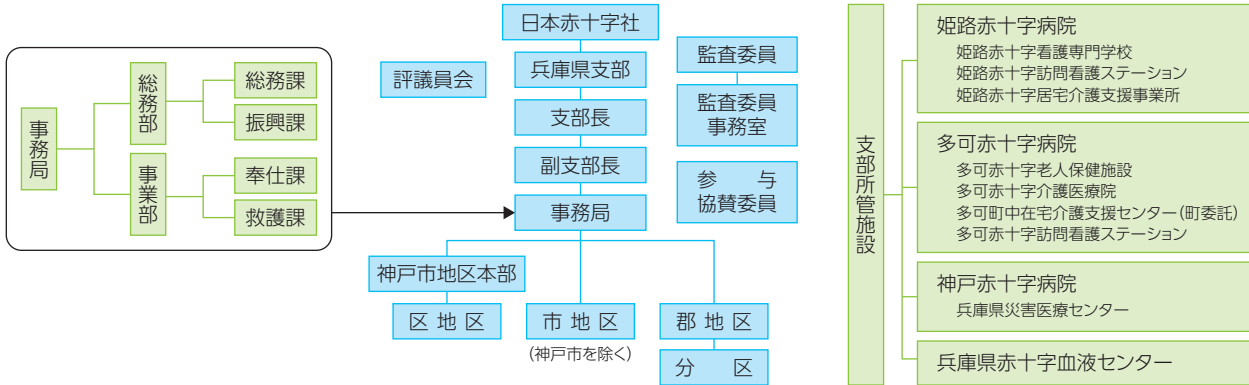
赤血球	血漿	血小板
83,607	28,330	20,502

(令和7年12月末現在)

10 日本赤十字社兵庫県支部の現勢

- 支 部 長：齋藤元彦(兵庫県知事)
- 副支部長：山下輝夫(兵庫県保健医療部長)、今西正男(神戸市副市長)、山名宗悟(兵庫県町村会長)
- 監査委員：3名 ■ 支部参与：3名 ■ 協賛委員：8名 ■ 評議員：54名

(令和7年12月末現在)



11 決算報告

令和6年度の各施設等の歳入歳出決算を報告します。令和7年度の決算は確定後ご報告いたします。

□ 一般会計

個人や法人の皆様からの活動資金等を主な財源に、災害救護、救急法等の講習、青少年赤十字やボランティアの活動など、兵庫県支部の事業にかかる収支をまとめたものです。

日本赤十字社兵庫県支部 (千円)

科目	決算額	内 訳
歳 入	活動資金収入	一般からの活動資金収入 480,896千円 法人からの活動資金収入 58,717千円
	補助金、交付金	本社交付金、災害補償収入 (令和6年能登半島地震)
	繰入金	国際活動資金から繰入
	前年度繰越金等	前年度繰越金、雑収入
	歳入合計	641,951
歳 出	災害救護事業費	災害救護に要した費用及び救護装備整備費、 救護看護師の養成経費
	社会活動費	救急法等の講習普及事業費、 赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
	国際活動費	海外赤十字社支援事業費など
	指定事業地方振興費	災害救護設備整備費、採血受入機整備費、 救急医療体制整備費など
	地区区分交付金	地区区分への事務費及び事業費の交付金
	社業振興費	活動資金募集及び会員管理費、広報活動費
	基盤整備交付金	管内施設への基盤整備交付金
	積立金支出	災害等資金などへの積立金
	本社送納金	本社への送納金
	管理費等	管理事務費、資産管理費など
	歳出合計	517,006
	歳入歳出差引額	124,945

□ 医療施設特別会計

医療施設の運営等にかかる収支をまとめたもので、赤十字病院等医療施設の診療収入を主な財源として、医療施設運営のための費用等に充てられます。

県内3赤十字病院(姫路、多可、神戸) (千円)

科目	決算額	内 訳
収益的収入	医療収益	入院及び外来の診療等にかかる収益 入院患者数 298,130人 外来患者数 483,115人
	医療外収益	駐車場や売店等の収益、受取利息等
	医療社会事業収益	医療社会活動にかかる本社繰入金など
	付帯事業収益	看護専門学校、老人保健施設等の収益
	特別利益	上記に含まれない過年度収益など
	収益的収入合計	42,022,273
収益的支出	医療費用	人件費、材料費、委託費など
	医療外費用	支払利息、駐車場等の管理費など
	医療奉仕費用	医療社会活動にかかる人件費・経費など
	付帯事業費用	看護専門学校、 老人保健施設等の運営にかかる経費など
	特別損失	固定資産にかかる除却損など
	法人税等	税負担など
収益的支出合計	38,264,737	
収支差引額	3,757,536	黒字施設数 3施設 黒字額 3,757,536千円 赤字施設数 0施設 赤字額 0千円

※平成24年度から血液事業特別会計は、日本赤十字社本社にて一元化されたため記載しておりません。



あなたの身近に赤十字



あなたの街の災害救援車

県内の各市町での災害救援や赤十字活動を支援するために、災害救援車を配備しています。令和7年度は、宝塚市、加西市、南あわじ市に対し、3台の車両を更新しました。



救急体制の充実と安全・安心の確保

県内の警察署・交番など681カ所に救急箱を設置し、急なけがや体調不良への初期対応に備えました。さらに、園児のけがや発熱時の応急手当に役立てていただくため、県内226カ所の幼稚園へ救急医薬品セットを寄贈しました。

加えて、警察施設にはAED(自動体外式除細動器)を配備し、県民の安全・安心の向上に寄与しています。

赤十字ポスターコンクール

県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「災害からいのちを守る赤十字の活動」をテーマに作品を募集したところ、令和7年度は37校182作品の応募があり、33作品が入賞しました。



UR都市機構との連携による地域づくり

日本赤十字社とUR都市機構では令和4年12月に「日本赤十字社とUR都市機構との連携に関する包括協定」を締結しており、共催のイベントとして住民の方を対象とした防災教室を7月にUR武庫川団地、8月にURルゼフィール名谷東団地、11月にポートアイランド団地、12月に尼崎アルビス寺本団地で開催しました。

司法書士による相続・遺言セミナーの開催

日本赤十字社と日本司法書士会連合会は、「誰もが健康で心豊かに生活できる社会実現」を目指した包括パートナーシップ協定を締結し、様々な取り組みを行っております。

兵庫県支部においても兵庫県司法書士会と連携し、令和7年度は西宮市において「司法書士による相続・遺言セミナー」(10月)を開催しました。



赤十字活動をPR

5月の赤十字運動月間を中心に、赤十字活動を広く知っていただくため、神戸まつりやレッドライトアッププロジェクト、テレビ・ラジオ、YouTubeなどのWEBを活用した広告などでPRを行いました。



開催日	イベント名	関連施設名等
5月18日	神戸まつり「おまつりパレード」	神戸市中央区
5月5日～11日	赤十字レッドライトアッププロジェクト	人と防災未来センター
5月8日		明石海峡大橋



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

兵庫県支部

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL(078)241-9889 FAX(078)241-6990
<https://www.hyogo.jrc.or.jp> 赤十字 兵庫